

社会科学習指導案

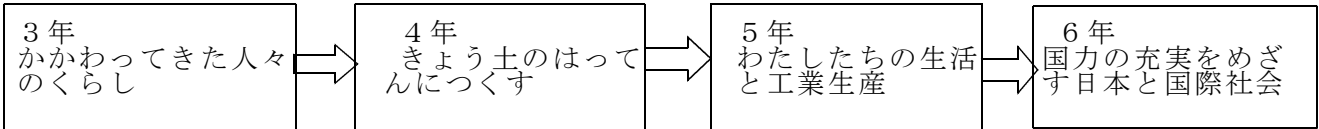
1 単元名 「国力の充実をめざす日本と国際社会」 (日本文教出版)

2 考察

(1) 教材観

- ① 学習内容：学習指導要領上の位置づけ
 ・第6学年の内容(2)「歴史と人々の生活」
 ・(2)コ 大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際地位が向上したことを理解すること。
- ② 主に伸ばした資質・能力
 ・大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、産業や科学の発展などに対する関心。
 ・日本が国力を充実し国際的地位を向上させたこと、日清・日露戦争、条約改正、産業や科学の発展などに対する関心。
 ・明治の日本が国力を向上させたこと、日清・日露戦争、条約改正、産業や科学の発展などに対する関心。
 ・近代国家の発展と国際的地位の向上について、広い視野で歴史を考えられる力。
- ③ そのために必要な指導・学習内容
 ・導入のとき、当時の様子や生活の様子を調べることで、どのようにして国力を充実させたか、その背景や理由を明らかにする。写真や絵、映像を見せることでどんな様子かを予想させ、興味を引く。
 ・当時の様子や生活の様子を調べることで、どのようにして国力を充実させたか、その背景や理由を明らかにする。写真や絵、映像を見せることでどんな様子かを予想させ、興味を引く。
 ・当時の様子や生活の様子を調べることで、どのようにして国力を充実させたか、その背景や理由を明らかにする。写真や絵、映像を見せることでどんな様子かを予想させ、興味を引く。
 ・当時の様子や生活の様子を調べることで、どのようにして国力を充実させたか、その背景や理由を明らかにする。写真や絵、映像を見せることでどんな様子かを予想させ、興味を引く。

④ 教材の系統



(2) 児童の実態

- 児童は、これまでに学習において写真や絵、図を見て気付いたことを話し合ったり、歴史上の出来事や人物について調べるなど興味をもって学習している。児童の学習態度は、大抵「興味を持って学習する」という傾向がある。児童の学習態度は、大抵「興味を持って学習する」という傾向がある。児童の学習態度は、大抵「興味を持って学習する」という傾向がある。
- ① 児童の学習態度は、大抵「興味を持って学習する」という傾向がある。児童の学習態度は、大抵「興味を持って学習する」という傾向がある。児童の学習態度は、大抵「興味を持って学習する」という傾向がある。

④ 指導方針

- 「つかむ過程」では、ノルマントン号事件のふうし画を見せ、児童が気づいたことと既習事項の確認から単元の課題の設定する。その後、単元の課題について予想を立てさせ、児童との交流させる。児童から出た予想をもとに、これから学習で追究していきたいことをまとめる。
- 「追究する過程」では、大日本帝国憲法の内容を調べ、どんな憲法だったかを話し合わせる。日清・日露戦争のふうし画を見て、このときやを考えたこと、当時の人々の生活の様子を調べる。日清・日露戦争のふうし画を見て、このときやを考えたこと、当時の人々の生活の様子を調べる。
- 「まとめる過程」では、今まで調べた日本の近代化につながる出来事を出させた後、『日本は、はるかに進んだ』という本を渡す。児童が調べたこと、考えたこと、当時の人々の生活の様子を調べる。日清・日露戦争のふうし画を見て、このときやを考えたこと、当時の人々の生活の様子を調べる。

3 単元の目標

- 不平等条約改正を中心に、大日本帝国憲法の発布と国会開設、日清・日露戦争での勝利、韓国併合、近代産業の発展などについて意欲的に調べ、近代化を進め、欧米諸国と対等な関係を構築

したことや世界のなかの日本として近代化が進められたことを理解できるようにする。

4 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
①日清・日露戦争、科条約の改訂、産業の発展、社会の変化など、その関心をもち、よき調べる。	①我が国の国力が充実に、国際的地位が向上し、海外に発展したことを調べる。	①年表や写真、地図、資料、条約のしんじょうと、写真、効果的、日清改正要素を調べる。	①日清・日露戦争に改訂された条約の意義、我が国の国際的地位が向上したことを調べる。

5 学習計画

過程	時	○ねらい ・ 学習活動	・ 指導上の留意点	評価の観点			
				関	思	技	知
つかむ	1 本時	<ul style="list-style-type: none"> 不平等条約の改正や日本の近代化の歩みのようすを調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて ノルマントン号事件のふうし画の情報をもとに、単元の計画を立てよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【単元の課題】 なぜ不平等な条約を改正することができたのだろうか？</div>	<ul style="list-style-type: none"> ノルマントン号事件のふうし画をみて、気づいたことを発表させる。 不平等条約を改正できなかったことを調べる。 不平等条約が改正されたことを調べる。 	○	○		
追究する	2	<ul style="list-style-type: none"> 「単元の課題」を追究する 西南戦争と自由民権運動の様子から日本の変化について調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 西南戦争の後、日本はどのように変わっていたのだろうか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">まとめ 西南戦争後、武力によるうったえから、言論によるうったえに変わっていった。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 西南戦争の絵図を見て、気づいたことを発表させる。 西南戦争と自由民権運動の様子から日本の変化について調べる。 次時である自由民権運動後の社会の変化に関心が高まるように、自由民権運動の考えについて話し合う。 調べた事実同士を関連づけて、西南戦争と自由民権運動後の日本がどのように変わったのかを調べる。 			○	○
	3	<ul style="list-style-type: none"> 大日本帝国憲法の発布と国会開設について調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 大日本帝国憲法は、どのような特徴があるのだろうか？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">まとめ 大日本帝国憲法は、天皇を中心の国づくりを目指した憲法であった。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 導入で調べる意欲を高めるために、「大日本帝国憲法の発布式」の絵図から、気づいたことを発表させる。 どの憲法が予想しやすいように、前時の「自由民権運動の考え」を提示し、予想させる。 多面的・多角的な見方ができるように、予想したことを児童間で交流させる。 憲法の特徴のポイントを調べたことを書かせる。 調べた事実同士を関連づけて、憲法の特徴を調べる。 			○	○
	4	<ul style="list-style-type: none"> 日清・日露戦争について調べる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 日本は、なぜ日清・日露戦争をしたのか？</div>	<ul style="list-style-type: none"> 当時の国際情勢が理解できるように、1枚のふうし画を見て、気づいたことを発表させる。 日清・日露戦争の経過や様子、結果について調べる。 			○	○

まとめる	<p>8 ○「単元の課題」についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの文を読み直し、これまでの学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 学習してきたこととを基に、明 治・大正時代のなかで、日本近代 化の国際社会の発展をまとめよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>まとめ 治進め、大正時代の日本は近代 化や国会の開設など、清・日露戦争 の勝利や産業の発展など、国際的 地位を向上させたことができた。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、日本が一人の課題をまとめる。 ・次に、一人の課題をまとめる。 ・最後に、一人の課題をまとめる。 	○			○
------	--	---	---	--	--	---

6 本時

(1) ねらい

ノルマントン号事件と条約改正をもとに疑問や調べたいことを考え、単元の課題を立て予想することで、不平等条約の改正にともなう日本の近代化の様子を追究する意欲をもてるようにする。

(2) 授業改善の視点

条約改正成功の理由を予想し、話し合わせたことは、この時代に日本が国力を高め、国際的地位を向上させたことを追求していこうとする意欲を高めることに有効であろう。

(3) 準備

- ・ワークシート・ホワイトボード・付箋紙・ふうし画の拡大図・プロジェクター・パソコン・マグネットスクリーン

(4) 展開

学習活動 ・予想される児童生徒の反応	時間	指導形態	指導上の留意点及び支援・評価 ◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価
<p>1. ノルマントン号事件のふうし画を見て、気づいたことをもとに本時のめあてをつかむ。</p>	5分	個人 ↓ ペア ↓ 斉	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で気づいたことを自由に書かせ、その後、ペアで書いたことを出し合う。 ・意欲的な追究活動につなげられるように、児童からでた気づきをもとに本時のめあてを設定する。
<p>【本時のめあて】</p>			
<p>2. 不平等条約を結んだ時の様子や不平等条約の改正に失敗した様子やその後不平等条約を改正したことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日米修好通商条約 ・治外法権を認める ・関税自主権がない ・アメリカに弱いと思われていたから ・岩倉使節団 ・政治・経済のしくみ、産業や文化が遅れていたから 	10分	個人 ↓ 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来校の絵や岩倉使節団の写真を見せ、その当時の様子や日本の国際社会での地位について思い出させる。 ・今後の日本の変化に興味をもてるように、なぜ不平等条約改正に失敗したのかを復習させる。 ・不平等条約改正までの簡単な流れを年表で調べさせ、約50年もかかったことを確認する。
<p>3. 不平等条約改正の成功について調べ、単元の課題を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸奥宗光 1894年 ・イギリスとの間に治外法権の廃止 ・小村寿太郎 1911年 ・アメリカとの間で関税自主権の回復 	5分	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で資料集を使って調べ、ワークシートに記入させる。 ・その後の単元の課題の設定と予想につなげるため、ここでは、深入りせずに改正した事実だけを調べさせる。
<p>〈単元の課題〉 なぜ、不平等条約を改正することができたのか？</p>			

<p>4. 不平等条約を改正できた理由の一つである「文化の洋風化」について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿鳴館」という洋館を建て、外国人を招いて舞踏会を開く 	5分	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ビネーの「なまいきな猿まね」「列強の仲間入り」を見せ、当時外国人から日本はどう思われたかを考えさせる。 ・「文明開化」と「鹿鳴館」の絵を見せることで、日本の生活や文化が欧米の国々に近づいていったことが一つの理由であることに気づかせる。
<p>5. 「なぜ不平等条約を改正できたか」を予想し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国力がたかまったから ・欧米の国々に認められたから ・戦争に勝ったから ・世界で活躍する人が出てきたから ・粘り強く交渉したから 等 	15分	個人 ↓ グループ ↓ 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の課題に対して、個人で予想し、その後グループで交流し、立てた予想をKJ法でグループ分けさせる。 ・予想がかけない児童には、不平等条約の改正の理由を確認させる。 ・政治についての予想が出ない場合は、日本が政治の部分でも近代化していく様子に気づくように「江戸時代の五か条の御誓文」「第1回国会のように」を見せる。 ・これから学習していきたいことを「国力」「外国」「人物」「政治」などキーワードを出させ、全体でまとめていく。
<p>6. 予想したことをもとに、これから学習していきたいことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の国力は、どのように高まっていたのか。 ・欧米にどのように認められたのか。 ・どんな人がどのように活躍したのか。 	5分	個人 ↓ グループ ↓ 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・これから学習していきたいことを「国力」「外国」「人物」「政治」などキーワードを出させ、全体でまとめていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇日清・日露の戦争、条約改正、産業や科学の発展、社会の様子の変化などに関心を持ち、進んで調べようとしている。 【関心・意欲】</p> </div>

7 板書計画

単元の課題を立て、予想しよう

ノルマン
トン号事
件のふうし画

不平等条約
改正までの道
のりの年表

陸奥宗光
肖像画

1894年
治外法権の
廃止に成功

小村寿太
肖像画

1911年
関税自主権の回復
に成功

単元の課題
なぜ、不平等条約を改正できたのか？

予想

児童の予想が書かれたホワイトボード

これから学習していきたいこと
「国力」「外国」「人物」「政治」